

# 飯伊 産業経済動向

No.519 2022/6  
(4.7.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫  
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

## 飯伊地区主要経済指標

主要指標	実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,180 枚	△ 14.7 %	△ 13.3 %	△ 27.8 %	△ 15.5 %
	金額	3,662,579千円	△ 3.6 %	△ 12.8 %	△ 24.4 %	△ 11.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)	(前々年同月 0 枚)	(令和元年同月 0 枚)
	金額	0千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)	(前々年同月 0 千円)	(令和元年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上) (5月)	県内	9 件	(前月 10 件)	(前年同月 4 件)	(前々年同月 6 件)	(令和元年同月 4 件)
	飯伊	0 件	(前月 0 件)	(前年同月 1 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 0 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(5月)	45 戸	12.5 %	△ 8.2 %	4.7 %	△ 25.0 %	
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(5月)	1.38 倍	(前月 1.34 倍)	(前年同月 1.18 倍)	(前々年同月 0.85 倍)	(令和元年同月 1.31 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,625 台	18.4 %	△ 15.8 %	△ 16.9 %	△ 38.5 %
	中古車	786 台	17.0 %	0.8 %	2.6 %	2.2 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会) (5月)	新車	2,664 台	△ 20.5 %	△ 22.6 %	40.1 %	△ 32.4 %
	中古車	1,211 台	△ 32.1 %	9.6 %	11.4 %	0.9 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	92,689 台	△ 2.4 %	14.7 %	8.6 %	△ 13.6 %
	出	93,583 台	△ 1.7 %	16.3 %	8.7 %	△ 13.8 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	57,119 台	0.9 %	11.6 %	△ 4.5 %	△ 23.3 %
	出	55,688 台	4.0 %	10.8 %	△ 5.1 %	△ 23.0 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,241 台	△ 23.8 %	12.1 %	△ 4.4 %	△ 10.2 %
	出	13,061 台	△ 25.4 %	9.5 %	△ 6.8 %	△ 10.9 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	41,467 台	△ 9.8 %	29.9 %	35.3 %	11.3 %
	出	41,744 台	△ 10.5 %	32.6 %	35.5 %	16.1 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	39,129 台	12.3 %	53.8 %	- %	- %
	出	35,029 台	2.8 %	35.5 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)	128 件	20.8 %	25.5 %	△ 79.7 %	△ 3.0 %	
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)	0 件	(前月 0 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 16 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	12,274 人	△ 14.0 %	133.5 %	146.9 %	△ 50.2 %
	飯田～名古屋	10,059 人	△ 0.9 %	117.9 %	139.8 %	△ 41.3 %
	飯田～長野	4,550 人	18.5 %	41.3 %	31.3 %	△ 52.1 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	8,635 人	△ 10.0 %	197.0 %	822.5 %	△ 57.0 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,683 人	1.6 %	△ 7.2 %	△ 14.3 %	△ 23.5 %
	右回り	2,794 人	17.0 %	3.9 %	3.3 %	△ 20.5 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



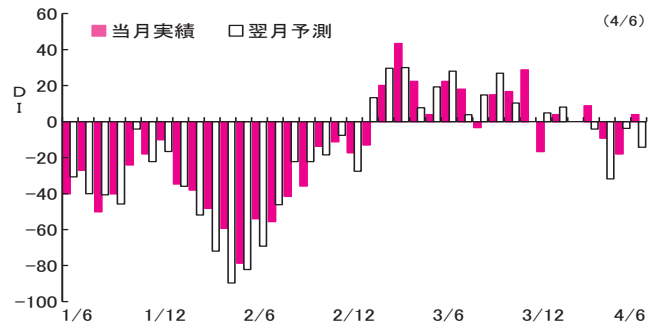
再生紙を  
使用しています

## 地区内製造業の景況判断指数

### 概況 景況DIはやや好転も、原材料費高騰のピークは見えず先行きは不透明

当月の製造業の業況判断指数（DI）はプラス3.8で、前月から21.7ポイント上昇。新型コロナの落ち着きもあってか足元では景況感がやや改善するも、原材料費の値上がりに歯止めがかからず、先行き不透明との声が多い。機械部品製造では製品価格の値上げ交渉が進んでいるとの声が多く聞かれるが、食品関連製造では値上げが売上に直結するため、対応に苦慮しているといった声が聞かれた。

飯伊地区景況DI（製造業）



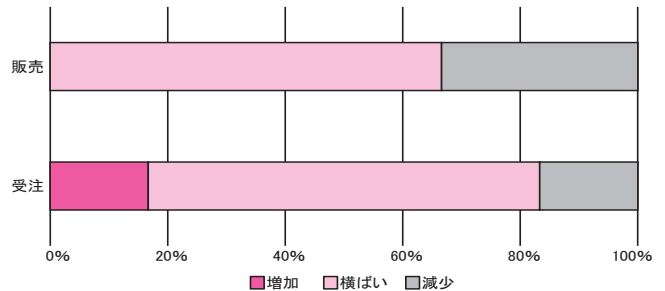
【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…  
 景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。  
 「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

### 主な業種の動き

#### ●電気・精密・光学

- ✓受注、販売… 販売の前月比はやや減少～横ばい。前年比では増加との声は複数。受注の前月比は業者により増減分かれた。
- ✓景況感…… 当月の景況感はやや悪化～概ね横ばい。中国のロックダウンを含めた世界情勢、半導体不足、原材料高など先行きの不透明感が依然強い。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



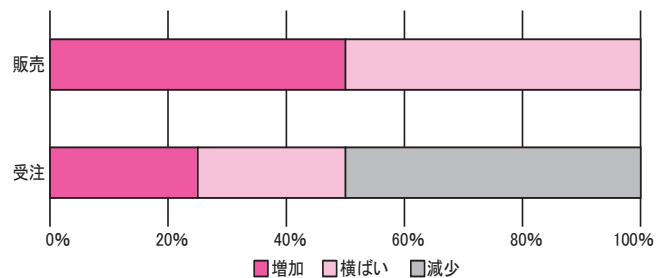
#### [企業からのコメント]

- ・「ここに来て半導体の入手不足・価格上昇、原油高、ウクライナ紛争、中国のロックダウンによる影響で、この先の状況はさらに不透明になってきている」「全体的に、今後の仕事が少なくなるとの声を聞く」
- ・円安、原材料費高騰、輸入諸経費高騰など苦しい状況が続いている中で、主要客先に対し製品価格のアップを依頼。ほとんどの客先で状況を理解してもらい、価格アップを認めてもらった。

#### ●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ✓受注、販売… 販売の前月比は横ばい～増加、受注残の前月比は減少との声が多い。取引先によって好不調の差が生じているとの指摘も。
- ✓原材料価格… 当月の景況感は概ね横ばい。部品不足、物価高による短期的なリスクはあるものの、中期的には高需要が続く見通しとの声も。

半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合

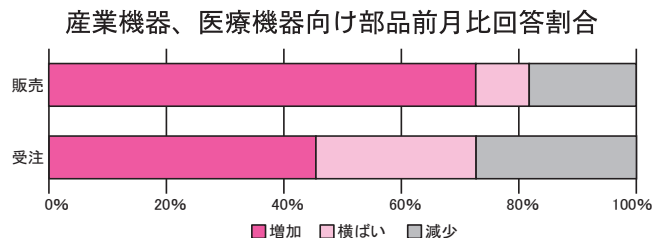


#### [企業からのコメント]

- ・「最終製品の市況感減速、急激なインフレの進行によって消費者の購買意欲が低下している。自動車やデータセンター向けの半導体など、一部では高い需要が継続しているが、消費者需要が冷え込んでいるため先行きのリスクを警戒する声も出ている。ただ短期的なリスクはあるものの、中期的には市場規模は大きくなる見込みで、高需要は継続すると考える」「半導体の取引先では好不調の差が生じている。特に後工程の取引先の受注が回復しない」「フォーキャスト情報は強気だが、実際の受注となると部品不足の影響がありダウン傾向」
- ・「6月、7月と原材料価格の上昇が決定している。原材料高騰分の価格改定を主要顧客へ要請中、7月注文分から適用となる見込み」「引き続き、原材料の値上げ依頼あり、製品価格への転嫁を検討中。新規品等は値上がりしている原材料費で受注できている」「価格転嫁には顧客の理解が得られ、順調に推移している」

●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 受注、販売ともに前月比は増減分かれるが、増加の声がやや多い。
- ☑景況感…… 景況感はやや悪化との声が多い。



[企業からのコメント]

- ・「F A 関連は短期的には需要減のリスクがあるものの、中期的には市場拡大傾向にあり、それに伴う需要は右肩上がりとなる見込み」「医療機器部品について、電子部品不足の影響がまだ続いており、生産調整がしばらく続きそう」「7月からの単価値上がりを見越して、受注が増加したのではないかと思える」
- ・「取引先での部材欠品のため、生産先送りのアナウンスがあった」「6月は全体的に受注減少」
- ・「今後の動向を先読みするよりも、状況変化に関する情報をしっかり収集し、変化への対応をスピードアップする努力のほうが今は必要だと感じる」「生き残りをかけて、得意分野・専門分野への『選択と集中』が進んでいる」「新電力の電力供給停止や値上がりは重要な問題なので、行政の対応を望む」

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売 上……前月比は業者により増減分かれる。暑さによる消費への影響を指摘する声も。
- ☑原材料価格…全ての業者で上昇との声。値上げのピークが見えず不安との声。

[企業からのコメント]

- ・「インフレと暑さもあってか、低調と思われる」「特に目立った動きはないが、酷暑が早く訪れたせいかスーパー向け商材の低迷を感じる」「インフレが明確化してきており、消費動向が心配される」
- ・「原料・資材・エネルギー・運賃の値上がりなどがどこまで続くのかわからない。製品値上げの対応に苦慮している」「忙しい状況だがガス代を含めて原材料の上昇が厳しい。10月より値上げの予定」「為替分による輸入原材料の値上げが、今月だけで2回」「原材料、経費などの上昇が続く。秋以降の仕入価格に不安を残す」

●水引、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上……前月比はやや減少。景況感はやや悪化との声。

[企業からのコメント]

- ・祝儀製品の落ち込みが大きい。他の仕事が安定している現在はカバーできているが、コロナ禍の影響はまだ続くので今後の見通しは暗い。祭事関連は復活の動きも。
- ・全ての材料が値上がりのため、事務処理に追われている。

●上記以外の製造業

- ☑食 品 製 造……販売は、前月比、前年比とも概ね横ばい。原材料価格の上昇は今後も続く見通しという。
- ☑建築用金属製品…販売は、前月比やや増加、次月以降もやや増加を見込むという。
- ☑自動車向け部品…販売は、前月比、前年比ともやや増加。景況感に大きな変化は見られない。
- ☑印 刷…… 販売は、前月比、前年比ともやや増加。原材料価格の上昇に対し、販売価格への転嫁は思うようにできていないとの声。
- ☑服 飾…… 受注残高、販売とも前年比増加。中国のロックダウンは収まったきたが、製造が国内へ流れてくる商材は多くなっているとの声。

[企業からのコメント]

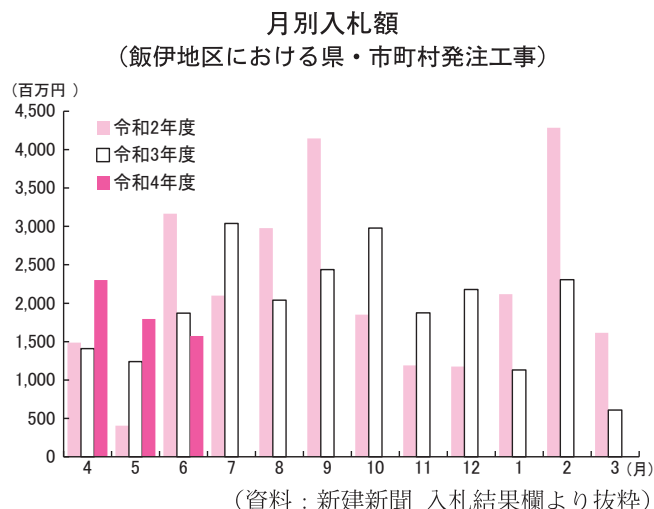
- ・物価高になり、価格据え置きの商品需要が増え、価格転嫁（値上げ）した商品は消費減が顕著となっている。とはいえ価格の見直しは必要であり、情勢を見ながら価格の再見直しは必要と思われる。
- ・ペーパーレス化が進む中、飯田市のプレミアム商品券は電子化して取り組むとのことで、印刷業界としては今後大きな影響が出てきそう。少しずつイベント復活の声が聞こえ出し、これから秋にかけての祭り・イベント等に期待したい。
- ・秋物の立ち上がり以降、10月までは生産ラインが埋まっており、今後の加工賃の値上げが通りそうな環境になってきている。海外からの輸入も運賃が大幅に上がっており、しかも円安で利益がマイナスの状況となっている。8月以降の海外生産分については、思い切った値上げ申請をしていく予定。
- ・「今後、飯田職業安定協会に加盟する予定」「先々に備え、今後増員の予定あり」「先々を考え、予備的人材を採用」「相変わらず職人が不足。経験者の中途採用も視野に入れつつ、新卒者の技量上達に全力を尽くす」

# 建設業

## 官公需

概況 6月の公共工事入札金額は前年比で減少。  
新年度の工事発注を期待する声が多い

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約15.7億円（7月15日調査時点）。前年に比べ15.9%減少、2年前との比較では50.3%減少。
- ☑受注残高…………… 前月比は業者により増減分かれる。新年度の工事発注待ちという声は多いが、各種の選挙が終わるまでは発注が少ない状況が続き、競争が激しくなるとの声も。
- ☑雇用…………… 技術者の不足を指摘する声は依然として多い。



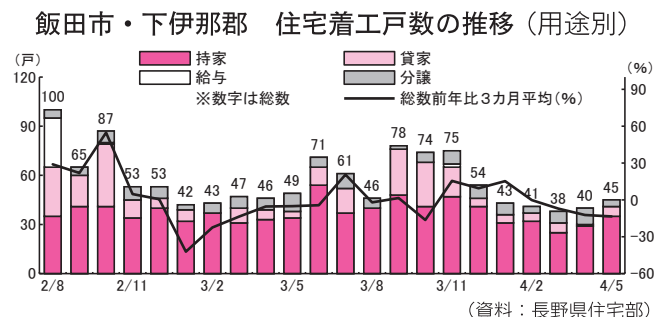
### [企業からのコメント]

- ・災害工事も終わってきて、公共工事は発注が少ない。参議院選挙や県知事選挙が終わらないと発注がないのではないかな。仕事が少ないのか、1件の入札に多くの事業者が入札しており、競争が激しい。
- ・県の工事では入札結果によって左右されるため、予定が立たない。地元の維持工事等で、仕事量は確保できている。
- ・「業務量はあるが、技術者が不足」「施工社員不足」「土木建築の技術者が不足している」

## 民需

概況 令和4年5月の住宅着工戸数は45戸で前年比8%減。  
2月以降、前年割れの状況が続く

- ☑住宅着工戸数… 当地区の5月の住宅着工戸数は45戸。前月比13%増、前年比では8%減。3か月平均戸数の前年比は2月以降マイナスが続いており、この傾向が継続するのか注視したい。
- ☑原材料価格…………… 多くの事業者で上昇が続いているとの声。ただ、工事価格への反映は進んでいないとの指摘も。



### [企業からのコメント]

- ・「新築住宅はまずまずだが、他の工事はほとんどない。めぐり合わせなので仕方ない」「住宅新築の受注なく、住宅改造工事のみ」「民間工事は細かい工事が多く、忙しい会社は忙しいが、そうでない会社もある」「仕事は少ない。忙しい会社はあるだろうが、総じてそんなに沢山の仕事は出ていないのではないかな」
- ・まだまだ資材の値上がりは続くし、供給も十分間に合わない。材料費が上がっているため、工事単価も当然上がる。
- ・土木業者も端境期で少し余裕が出てきたようだ。今のうちに造成工事などを依頼したい。

## 建設資材等

概況 6月の生コン、骨材の売上は、前月比、前年比とも増加の声が多い。

- ☑生コン…売上は前月比増加、前年比では業者により増減分かれる。
- ☑骨材…売上は前月比、前年比とも横ばい～増加。

### [企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、トンネル工事、バイパス工事、堰堤・砂防工事、リニア関連工事、保育園・倉庫工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の3%弱。
- ・「生コン向け骨材の出荷が多かった」「一時的に生コン市場の動きが鈍くなっていて、それに合わせて静かな月になった」
- ・年度替わりの影響が若干出ている感じがある。建設会社の多くが手持ち工事が一斉に終わってきて、次の仕事の確保に一時的に苦労しそうとの声も聞かれる。

## 商業・サービス業

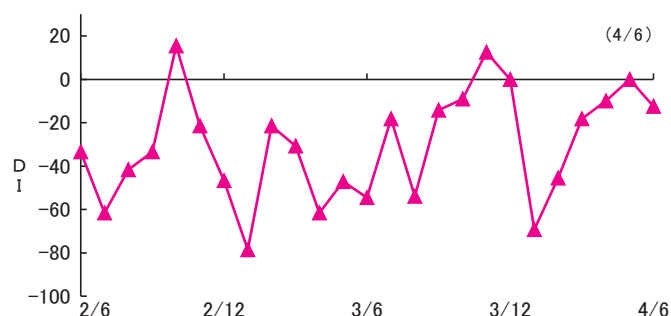
概況 コロナ感染者数は落ち着きを見せるも、景況感はやや悪化。  
物価高に加え、コロナ感染再拡大への懸念も

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、マイナス12.5で、前月から12.5ポイント低下。

6月はコロナ感染者数が落ち着きを見せたこと、また梅雨明けが早く好天が多かったことも影響してか、売上が増加したとの声は多く聞かれた。

その一方で、物価上昇による景気低迷、消費者の購買意欲減少を懸念する声は多い。また、7月に入りコロナ感染者数が増加に転じたことで、飲食・宿泊業を中心に、今後の見通しに不透明感が増したことも影響したとみられる。

商業・サービスDI



### 主な業種の動き

●小売業 概況 売上は業者により増減分かれる。景況感はやや悪化～横ばい

☑売上……前月比、前年比とも、業者により増減分かれる。

☑販売単価…やや上昇との声が多い。

#### [企業からのコメント]

- ・仕入業者の大幅なリストラや営業時短が行われ、業者自体の店舗縮小、在庫縮小が進んでいるため仕入商品が不足気味。
- ・今後の売上も、コロナが増加傾向で影響が心配される。

●卸売業 概況 景況感は概ね横ばい。梅雨明けが早く好天が続いたことが好影響をもたらしたとの声も

☑売上…前月比、前年比とも、商材により増減分かれるが、やや増加との声が多い。

#### [企業からのコメント]

- ・6月の野菜は前年比でkg当たりの価格が下がり、入荷量は前年並みに留まり、動きはあまり良くなかった。価格高の商品は玉葱、人参、レタス、価格安はごぼう、馬鈴薯、胡瓜と、玉葱を除く重要野菜（大根・キャベツ・白菜）。果実は、昨年全国的に不作だったサクランボが地元産を除いて順調な入荷量で価格も良かった。バナナはほぼ前年並み、スイカは天候良く売上増。果実全体では入荷量やや減、価格やや高となった。
- ・観測史上最短の梅雨明けにより、季節商品（エアコン関連）が急激に伸びた。予め在庫を確保してあったため、今のところは需要に応えられている。メーカー納期が通常以上にかかり、「取れる時に取れる分だけ」注文するため、通常よりも在庫調整が難しく、一時的な過剰在庫になる可能性が高い。
- ・節電が叫ばれている昨今において、新製品の長所である「省エネ」を売りにして設備機器の更新や家庭向け機器の入替を提案し、消費電力削減にも取り組んでいきたい。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 コロナ感染者数は落ち着きを見せるも、景況感については見方が分かれる。  
物価高、コロナ禍による行動変化による影響を指摘する声も

☑売上…前月比は業者により増減分かれるも、前年比では増加との声が多い。ただ依然としてコロナ前の売上には戻らず、物価高による消費低迷を懸念する声も多い。

#### [企業からのコメント]

- ・コロナが落ち着いていたので5～6月は前年を大きく上回り、コロナ前の半分近くまで回復。予約の電話も増加している。ただ物価高とコロナへの不安が消費者心理に大きく作用しているので、予断を許さない状況である。
- ・昨年から悪かったため前年比ではプラスだが、コロナ前の売上には届かない。物価上昇で飲食の回数が少なくなる。
- ・コロナ禍での人流抑制、外出自粛により個人の行動が制限された状況が普通になってしまい、夜の行動が激減している。タクシー需要は週末以外は全く厳しい状況。個人はともかく、企業等の大人数での移動は皆無であり、国の施策等により人が動くような環境作りが必要ではないか。
- ・阿智村の星空ナイトツアーは6月は休みだが、コロナ前の7～8割程度の売上を確保できた。ナイトツアーが始まる日からは予約が多いように見受けられ、やはりナイトツアー目当ての利用客は多くいると感じる。7月の3連休あたりからは昼神温泉の旅館がどこも満館になっているとの声が聞こえてくる。
- ・信州県民割を利用する方がほとんど。事前カード決済の方も多く、現金が多く入らないため資金繰りには苦労する。
- ・「仕入はウクライナ情勢と円安の影響で一段と高くなっている」「いつ値上げが止まるのか。米以外は仕入価格が上がる」
- ・少し明るさが戻った感はあるが、コロナ感染者数を追ってばかりの報道が続く現状では、この先の状況も予測のしようがない。
- ・アフターコロナでの経営において中小零細企業は人材確保が大きな問題。コロナ禍で社員が減少し、今後需要が膨らんでも対応できなくなってしまう。

# リニア開業後の東海道新幹線沿線の将来

～静岡市「リニア中央新幹線開業に伴う静岡市の社会経済への影響予測調査研究」～

静岡市はこの程「リニア中央新幹線開業に伴う静岡市の社会経済予測に関する調査研究」結果（以下、報告書）を公表した。

リニア中央新幹線開業により静岡市は「国内のヒト・モノ・カネ・情報の流れが変化」（報告書）し、「様々な影響」（同）が予測される、として、「リニア開業後の時代に起こり得る考えられる社会変化は何か」、「それにより、静岡市が受ける影響は何か」（同）の調査研究により「静岡市の特徴や強みを見出し、より一層アイデンティティをもった、特色のあるまちづくりへの議論へと深化させる」目的で取り組んだ。



東海道新幹線

## 1. 東海道新幹線停車本数への影響と静岡市・駅の優位性は

報告書は、リニア開通の影響として、「静岡市は現在、東京以西では1時間以内で到達できる最も遠い自治体であるが、開業後は、リニア停車駅の設置が予定されている山梨県、長野県、岐阜県、愛知県へも1時間以内での移動が可能になり『首都圏からのアクセスの良さ』といった静岡市の優位性が相対的に低くなること」（報告書・序章）が挙げられている。

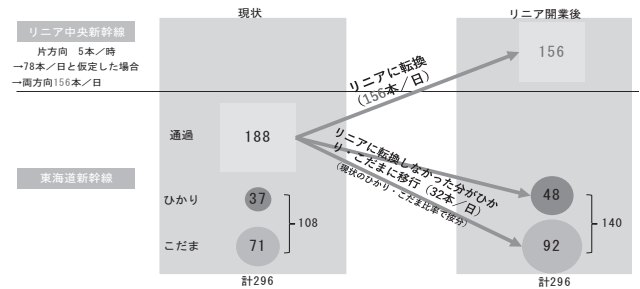
他方で、「東海道新幹線で『のぞみ』中心のダイヤから『ひかり』・『こだま』中心のダイヤになり、静岡市を始めたとした『ひかり』・『こだま』の停車駅にも、より多くの新幹線が停車するようになり、利便性が向上する」（同）ことも想定。

静岡駅の新幹線停車本数について、現状静岡駅を通過するのぞみ188本（上下）が、ひかり・こだまにどのように振り替わるかで、想定2パターンを基に、1日のひかり・こだまの停車本数合計108本が、合計140本/日または296本/日に増加すると想定でき、「最大で2.7倍の輸送能力増強」となるとした。また、のぞみの通過待ちのための停車時間が軽減されるため、こだまで静岡・東京間が「最大11分の移動所要時間短縮」の可能性もある。

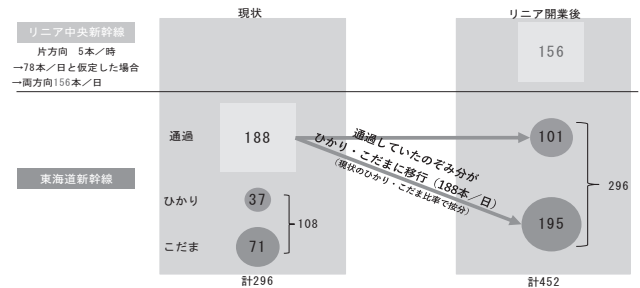
リニア開業後、静岡駅とリニア沿線駅の東京アクセス時間を比較するとリニア神奈川県・山梨県・長野県・岐阜県駅とも静岡駅より乗車時間は短いものの、駅と各都市中心部との距離によるアクセス時間や、リニアの各駅停車が1時間1本であることの待ち時間を考慮すると、コンパクトシティ静岡市の静岡駅は総アクセス時間ではリニア沿線各駅に対し優位にあると結論付けている。

### 東海道新幹線静岡駅の停車本数の仮定

■リニアに転換しなかった分が、ひかり・こだまに移行

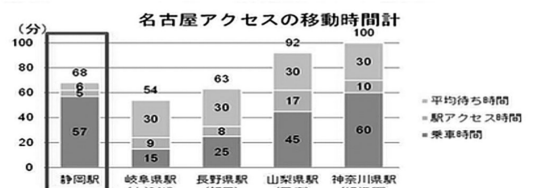
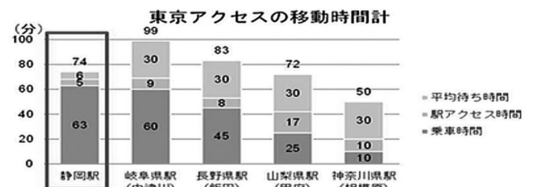


■通過していたのぞみ分が全部ひかり・こだまに移行



三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

（報告書72・73頁）



三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

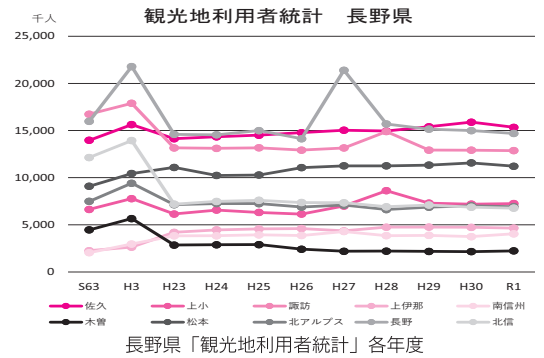
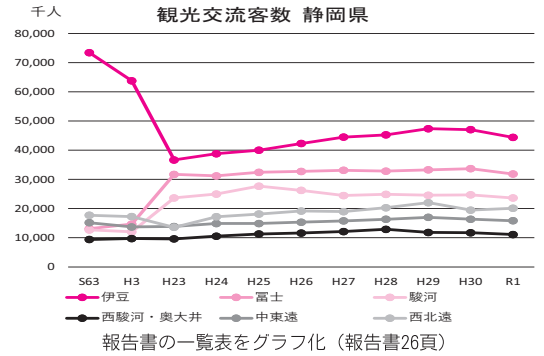
（報告書74頁）

## 2. 観光面では静岡市・静岡県は強力な競合先

報告書は、「静岡市の地域特性」として様々なデータをまとめている。それは、静岡駅とリニア沿線各駅が同じ「東京から1時間程度の中継駅」として旅客が降車してくれるための要因、地域力について比較を試みるためといえることができる。

その全部を取り上げることはできないが、観光面では、静岡県「観光交流客数調査」によると全県で1億4千万人台/年の観光交流数を誇る大観光県であり、「伊豆」、「富士」の年間3千～4千万人台という巨大観光地を擁している。その他の地域も、静岡市が含まれる「駿河」の23百万人/年をはじめ、各地域は1千万～2千万人台/年の規模となる。

これに対し、長野県の「観光地利用者統計調査」で地域振興局別利用者数をみると、静岡県に比べ総体にサイズが小さい。全県で8千万人台、南信州、上伊那で共に4百万人台、木曽が2百万人台。リニア長野県駅を降車駅に選んでもらうには、これら3地域が一体となりでき得れば諏訪地域も巻き込んだ観光推進体制が望まれる。



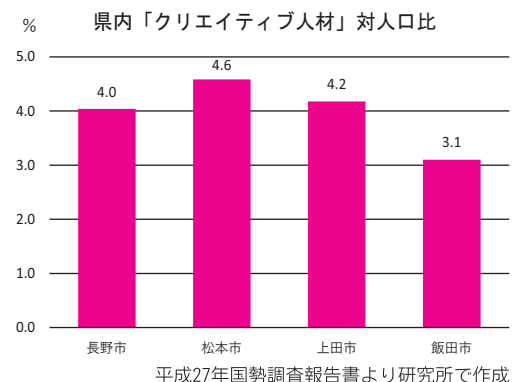
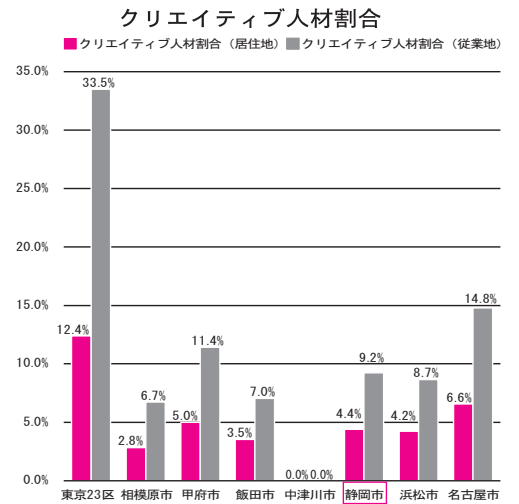
## 3. 「クリエイティブ人材」が示す地域特性

報告書は「クリエイティブ人材」という概念を用いて分析を試みている。これは国勢調査の職業別就業者で「管理的職業従事者」および「専門的・技術的職業従事者のうち、研究者、技術者、法務従事者、経営・金融・保険・専門職業従事者、著述家・記者。編集者、美術科・デザイナー・写真家・映像撮影者、音楽家・舞台芸術家、その他の専門的職業従事者」と定義されている。新幹線は「ヒトと情報を運ぶ」といわれるが、「ビジネス目的の移動」などの基盤となるのがクリエイティブ人材、との認識であろう。

平成27年国勢調査に基づく状況は、クリエイティブ人材の総数で静岡市は「甲府市や飯田市・中津川市よりも高く、優位性があるとしているが、対人口比でみる飯田市のクリエイティブ人材比率は、リニア沿線中間駅地域で甲府市に劣るものの相模原市を上回っていることが判る。

報告書に倣い、同じ平成27年国勢調査結果で県内の10万人以上都市のクリエイティブ人材比率を算定した。県内向けの限られたデータから算出したため、報告書の数値と一致しない。

これを見ると、県庁所在地であり新幹線が通っている長野市を松本市が上回っているのが判る。松本市は人口の社会増が続くなど特徴ある都市で、当該比率もその裏付けとなるものと思われる。この比率には四年制大学の存在も大きく関わっているのではなかろうか。



## 終わりに

静岡県といえば、リニア南アルプストンネルの大井川水問題がクローズアップされがちであるが、水問題とは別に、リニア開業後の東海道新幹線・リニア新幹線沿線間での綱引きを見据えた冷徹な研究・検討が進められていることが判る。

当地域での、リニア開業後を見通した一層の取り組みが肝要となっている。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

# 主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ヶ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成28年	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
3	686	△ 11.0	90,496	△ 11.6	77,895	△ 9.2	39,668	△ 19.1	53,800	△ 24.6
令和3.4	46	△ 36.1	5,695	314.8	5,607	168.7	3,264	53.8	3,313	125.1
5	49	14.0	5,085	168.6	4,656	223.6	2,967	64.4	2,632	—
6	71	9.2	5,256	5.7	4,617	10.1	3,220	△ 7.1	2,907	210.6
7	61	38.6	7,226	56.5	6,906	20.4	3,298	△ 18.5	4,194	67.3
8	46	△ 54.0	7,014	59.4	6,872	65.6	2,543	△ 16.3	4,219	30.8
9	78	20.0	6,230	4.7	4,937	△ 16.3	2,852	△ 19.9	4,242	18.3
10	74	△ 14.9	10,302	40.8	8,133	10.9	3,919	△ 7.4	6,863	43.6
11	75	41.5	12,979	77.8	10,125	36.0	3,905	3.3	7,208	75.8
12	54	1.9	15,968	183.7	11,360	95.4	3,884	24.4	9,827	200.2
令和4.1	43	2.4	11,039	206.0	7,805	100.7	2,856	△ 2.0	7,544	224.8
2	41	△ 4.7	5,294	25.8	5,183	34.7	2,030	△ 31.2	4,395	83.7
3	38	△ 19.1	10,825	56.3	9,068	30.6	3,132	△ 20.8	7,866	113.8
4	40	△ 13.0	10,825	90.1	9,106	62.4	3,375	3.4	8,485	156.1
5	45	△ 8.2	14,268	180.6	10,150	118.0	3,841	29.5	9,591	264.4
6	—	—	12,274	133.5	10,059	117.9	4,550	41.3	8,635	197.0
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

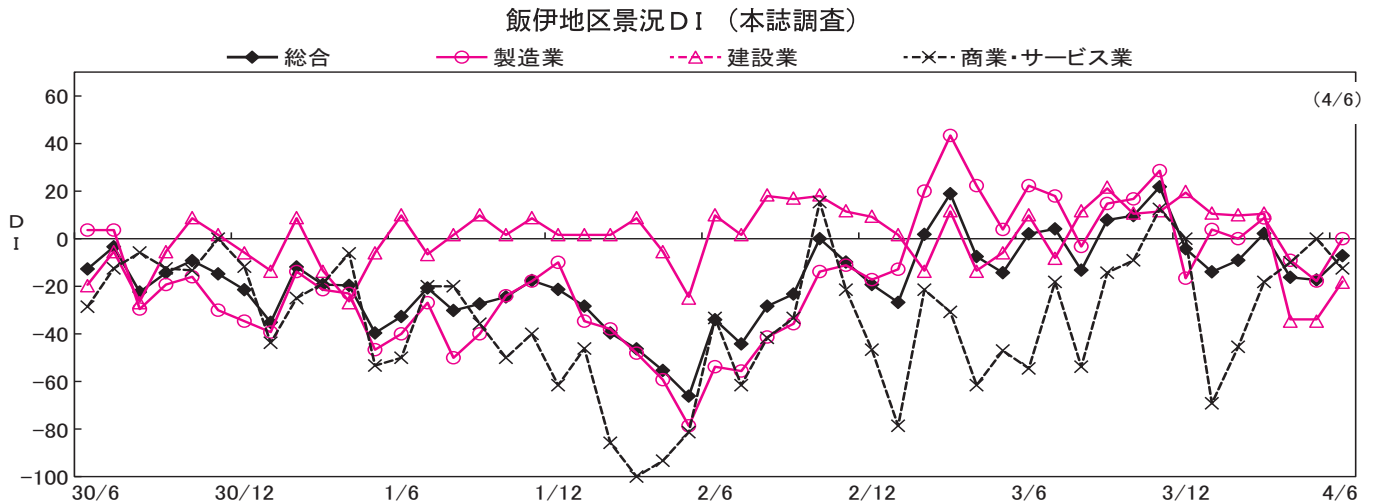
項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成28年	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.70	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	1.60	—	—
2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	1.16	—	—
3	24,672	△ 5.1	8,716	0.5	1.33	—	—
令和3.4	1,891	19.2	834	3.5	1.29	1.19	1.38
5	1,581	15.6	648	26.6	1.32	1.18	1.35
6	1,929	△ 1.3	780	1.8	1.36	1.31	1.47
7	2,040	△ 7.4	759	△ 13.8	1.40	1.41	1.60
8	1,820	3.1	634	△ 4.5	1.39	1.41	1.59
9	1,737	△ 36.7	724	△ 5.6	1.38	1.38	1.56
10	1,629	△ 26.4	730	△ 7.2	1.40	1.50	1.62
11	1,978	△ 9.0	693	1.9	1.40	1.48	1.67
12	1,940	△ 8.8	667	△ 4.9	1.41	1.54	1.78
令和4.1	1,764	△ 14.5	524	0.2	1.40	1.54	1.78
2	1,782	△ 18.7	627	△ 5.7	1.44	1.45	1.64
3	2,999	△ 22.6	887	△ 16.2	1.45	1.38	1.54
4	1,642	△ 13.2	750	△ 10.1	1.50	1.34	1.58
5	1,373	△ 13.2	672	3.7	1.55	1.38	1.63
6	1,625	△ 15.8	786	0.8	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成28年	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
2	32,204	47,885,737	80	8	3,707	101.2
3	29,079	41,505,718	66	9	1,799	△ 51.5
令和3.4	2,459	3,407,990	3	0	65	△ 74.9
5	2,389	3,635,849	4	1	84	△ 84.6
6	2,513	4,200,108	5	1	102	△ 83.8
7	2,156	2,697,156	6	1	95	△ 81.7
8	2,688	3,819,754	1	0	115	△ 66.5
9	2,280	2,770,797	4	1	140	△ 40.4
10	2,056	2,555,040	10	1	119	△ 44.1
11	2,511	3,039,284	6	1	105	△ 48.3
12	2,442	3,308,550	4	1	180	△ 28.0
令和4.1	2,351	3,586,789	5	0	79	△ 28.2
2	2,151	2,633,930	3	0	111	△ 37.6
3	2,451	3,850,529	7	1	157	△ 69.0
4	1,861	2,756,609	10	0	88	35.4
5	2,556	3,798,827	9	0	106	26.2
6	2,180	3,662,579	—	—	128	25.5
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)									
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C		座光寺 S I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
台	%	台	%	台	%	台	%	台	%	
平成28年	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4	—	—
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4	—	—
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1	—	—
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2	—	—
2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
3	2,069,577	△ 5.6	1,334,516	△ 13.3	328,892	△ 0.4	896,142	5.5	—	—
令和3.4	165,491	21.5	97,922	4.0	40,698	107.5	77,955	51.5	51,242	—
5	155,371	23.4	93,665	4.9	28,403	34.7	67,694	52.0	49,070	—
6	161,287	△ 5.9	101,444	△ 14.4	23,748	△ 14.8	63,407	3.2	51,295	—
7	178,849	△ 1.1	109,836	△ 8.6	27,957	29.9	84,791	29.3	57,001	—
8	163,627	△ 10.4	96,034	△ 25.7	27,010	△ 24.6	80,197	△ 2.3	49,324	—
9	160,176	△ 17.9	106,413	△ 24.8	24,117	△ 22.7	72,290	△ 10.1	54,464	—
10	195,527	△ 7.3	129,595	△ 17.3	37,818	△ 10.4	95,606	5.1	64,606	—
11	202,221	△ 3.6	140,844	△ 14.2	39,761	7.5	99,295	3.6	66,298	—
12	190,907	3.3	116,954	△ 12.1	23,173	14.0	77,396	14.9	63,362	—
令和4.1	156,408	6.5	88,892	△ 13.3	22,604	30.6	64,673	29.3	53,029	—
2	139,121	△ 8.9	79,294	△ 26.0	20,384	16.5	58,770	7.9	48,192	—
3	181,738	△ 7.6	106,123	△ 19.7	22,605	5.7	77,058	5.5	64,148	—
4	176,297	6.5	104,261	6.5	41,449	1.8	91,046	16.8	65,177	27.2
5	190,249	22.4	110,151	17.6	34,865	22.8	92,564	36.7	68,923	40.5
6	186,272	15.5	112,807	11.2	26,302	10.8	83,211	31.2	74,158	44.6
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター									

# 飯伊地区全産業景況DIの推移



## 統計調査から

### 【サプライチェーン全体で効率よくCO2減をめざす「グリーン・バリューチェーン」】

2021年5月、国の地球温暖化対策の推進体制や施策を定める法律「地球温暖化対策推進法」の改正案が可決・成立した。この中で、「2050年までの脱炭素社会の実現」が新たに明記されたことにより、今後ますます企業は環境に配慮した持続可能な経営を求められるようになるとされる。

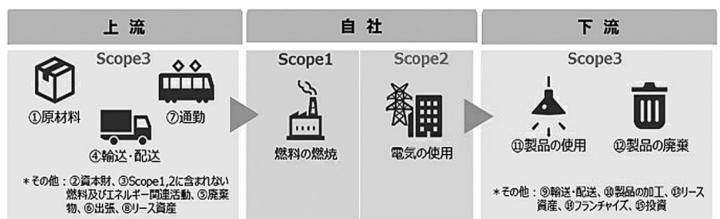
それにともない、環境省では、企業単体だけではなく、サプライチェーン全体で効率よく温室効果ガスの排出量削減を目指す、グリーン・バリューチェーンの取組も推進している。

こうした取り組みを推進するには、自社のみならず、原材料調達、製造、物流、販売、廃棄など、サプライチェーンにおける様々なカテゴリーの温室効果ガス排出量を算定する必要があることになるが、これは一般的には、右上図の方法で計算される。例えば親会社がサプライチェーン排出量を計算する際、原材料提供事業者が提供した原材料の生産時に生じた温室効果ガス排出量も、親会社はScope3の温室効果ガス排出量として把握することとなる。

右下図は、ある電機メーカーがサプライチェーン排出量を算定したもののだが、Scope3、中でもカテゴリ1といわれる「購入した製品の製造やサービスによる排出量」や、カテゴリ4といわれる「調達輸送による排出量」、カテゴリ11といわれる「販売した製品を使用することによる排出量」などで温室効果ガス排出量が多く、従って削減余地も大きいことが明らかとなった。

親会社の業種によって違いもあるだろうが、原材料提供事業者に対して、排出量の開示や削減の要請が強まるのが予想されるのではないかと。

$$\text{サプライチェーン排出量} = \text{Scope1排出量} + \text{Scope2排出量} + \text{Scope3排出量}$$



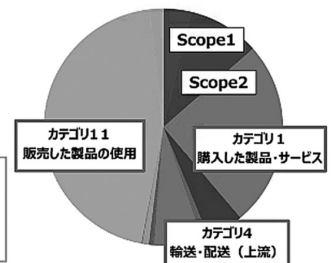
- Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
- Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

### ○A電機(電機メーカー)のサプライチェーン排出量サンプル

#### ●Scope別排出量

項目	排出年	CO2排出量	割合
Scope1	2015	120,000 t-CO2	4%
Scope2	2015	312,000 t-CO2	10%
Scope3	2015	2,770,000 t-CO2	86%

#### ●カテゴリ別排出量グラフ



▶サプライチェーン排出量の中でもScope3、特にカテゴリ1,4,11がホットスポットであることがわかった。

(図表出所は、すべて環境省)